



「はじめるよ!ハイ!!」

23P

明日へのひとこと
川崎茶の魅力を

19P

国道286号バイパス整備事業
より見えるカタチに

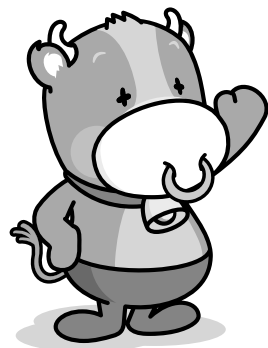
10P

要望決議
計画的な整備を

2P

意見交換会
子育て世代の想い多数





子育て世代の



▲良い方向に向かうには

情報発信と活用を
—IT関連—

- タブレット、スマホの依存が大きい。
- 学校と保護者の連絡はスマホを利用してはいるが一般市民にも共有したいものは情報を伝えることが必要(ウマが出たとか)。

図書環境の整備を
—図書・学習—

- 図書館がなくて不便。
- 公民館の図書室が狭く、蔵書数が少ない。
- 図書室の学習スペースが狭い。
- 学校の図書が古い。新書の補充も考えてほしい。

体制の充実を
—学校・部活—

- 第二小学校のサポート体制が充実している。ほかの学校でも必要では。
- 小学校でのサポート(地域ボランティア、コーディネーターなどサポート体制の充実を)。

雇用の確保を
—雇用—

- 働く場の充実。
- 町内での雇用の確保が必要。
- 学校卒業後、地元での就職できる環境(企業)が必要。

小児科があれば
—病院—

- 町内に耳鼻科と眼科、小児科がない。通院時に仕事を休む必要がある。

体制拡充を
—親の送迎—

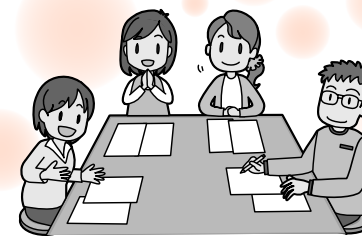
- こども園・児童教室の登園・降園、運営時間が厳しい。女性が正職員で働けない。



▲保護者からのストレートな想い

お忙しいなか、保護者の皆さんに参加していただきありがとうございます。皆さんからの貴重なご意見・ご要望は議会全員で検討し、より良い方向に進むよう努力してまいります。

想い多数



対面で保護者と懇談

9月14日、コロナ禍により中止していた対面での意見交換会を5年ぶりに開催しました。今回は、保護者11名と全議員が「子育てに関する困りごと」などをテーマに意見を交換しました。さまざまな意見が交わされましたが、その一部を紹介します。

意見が出しやすいワークショップ形式で



▲こども園・小中学校の保護者で

保護者からの意見

通学が不便

通学・バス時間

- 町外への(通学)バスを増便してほしい。
- 高校進学時の公共交通や送迎等に不安がある。
- 宮交バスの本数が少ないため、利用しにくい。
- 他町村への高校通学への手段が不便。交通費が高い。
- 小学校への送り迎えが大変。
- 学校の部活や児童教室の利用後(午後6時以降)の町民バスの運行がない。



▲4班に分かれて活発な意見が

担当課へ事業成果を確認



▲年々かさむ修繕費

答 緊急を要するものは早急に対応しています。また、年次計画を立てて修繕をしているものもあります。

老朽化の影響で
遠藤美津子委員
問 小中学校の工事費、修繕費が約1400万円かかっており、まだ修繕が必要な箇所もあると聞いています。施設修繕等の要望はありますか。

専門家に
眞幡善次委員
問 婚活事業はしっかりと予算を確保し取り組むべきです。専門家に入ってもらい、事業を推進すべきと考えますが。

町民生活課
答 令和5年度は、3つの事業を実施・展開する予定で、このうち2つの事業は外部の専門職員が対応しています。今後、これらの事業を検証し、来年度の予算を検討したいと思います。



▲専門家の力を借りて



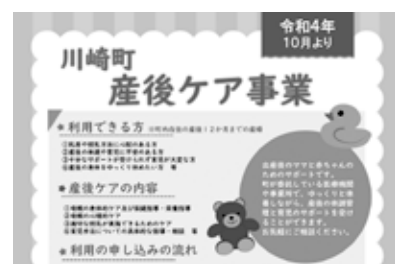
▲元気に砂あそび

園児が減少
佐藤昭光委員
問 富岡幼稚園の園児が減少しています。今後、かわさき子ども園と一緒に考えるのは、幼児教育課ですか。

答 これから令和6年度の入園募集を行いますので、その状況を注視していきます。

周知の徹底を
佐藤清隆委員
問 産後ケア事業は前年度途中から開始したこともあり、周知が行き届いていないと感じますが、現在の状況は、保健福祉課ですか。

答 仙南地区の2事業者に委託しています。令和5年9月現在8名15回の利用があり、実績は伸びています。しかし、他の自治体との兼ね合いで、利用したいときに利用できない可能性があるのが懸念材料となっています。



▲周知に工夫を



▲見られてますよ

不法投棄の対応は
高橋義則委員
問 ごみ減量の要因は。また、不法投棄への対応は。

町民生活課
答 物価上昇により個人消費が減ったことが要因と考えます。毎週月曜日に町内を巡回し、不法投棄等を見つけた場合は回収・処理しています。

令和4年度の各種会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く11名で構成する決算特別委員会での審査に付託されました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤清隆委員を選任し10月3・4日に審議しました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。



的場要委員長 佐藤清隆副委員長

人員確保は
佐藤昭光委員
問 消防団・交通安全指導隊・防犯指導隊は人手不足だと思われる。活動に支障は。総務課

答 いずれの団体も条例定数を満たしていない状況です。交通安全指導隊からは不足感があるとの意見があります。若い人が入るよう

に広報活動を含め、現隊員等からの声掛けなどで増員を図っています。



▲慢性的な人手不足



▲畑地化支援もあるが…

耕作放棄が心配
高橋義則委員
問 水田を畑地化すれば5年間は耕作しなくてはなりません。その後には耕作しない農地が増えることも予想されます。どのように指導していきますか。

農林課
答 水田転作で飼料作物を栽培し、畑地化支援を受け取っている農家は5年間作付け報告が義務付けられています。農家との間に入って指導したいと考えています。



▲ぜひ空き家の登録を

登録件数増へ
遠藤美津子委員
問 空き家バンクの登録件数が少ない状況です。アンケート結果を踏まえた今後の展開は、地域振興課

答 現在の登録物件は9件です。アンケート発送数414件のうち「興味有り」との回答は70件でした。「興味有り」と回答した人には、物件登録に向けて事務を進めていきます。



▲情報交換しながら

積極的に参加を
眞幡善次委員
問 職員の研修は非常に重要です。他市町村との交流等には積極的に参加していくべきだと考えますが、総務課

答 他市の市町村職員と意見交換をしながら見識を深めていくことを目的として、参加できる研修には積極的に参加するよう職員に周知していきます。



▲事故を未然に防ぐ

今後の整備計画は
佐藤新一郎委員
問 今後のため池整備計画と安全対策は。農林課

答 点検の結果、5カ所のため池で安全施設の設置や老朽化の対策が必要となりました。国庫補助事業を活用し、令和5年度は支倉の2カ所、令和6年度以降に残りのため池を整備する計画です。

令和4年度決算 総括質疑

先を見据えた

取り組みを!!

10月2日の本会議で各会計決算概要説明後、令和4年度決算特別委員会を設置し、2日間にわたり担当課から詳細説明を受け審査しました。その審査を経て総括質疑を行いました。

質疑は多岐にわたりましたが、ここではその一部を紹介します。



積極的な情報発信を

遠藤美津子委員

問 風疹や带状疱疹予防接種は接種人数が少ない状況です。積極的な情報発信をすべきと考えますが。

重要性・必要性を周知

町長

答 年度途中から始まった带状疱疹は、それなりに実績を上げています。引き続き重要性と必要性を周知していきます。

情報共有と連携を

眞幡善次委員

問 自主財源を確保するため、徴収率アップに向け、全庁での情報共有と連携が不可欠だと考えますが。

情報交換を行う

副町長

答 滞納整理本部のなかでさまざまな情報交換を行っており、滞納者の生活状況に変化があった場合などにも連絡を取り合っており対応しています。今後も情報共有と連携を図っていきます。

町内いたるところに

佐藤清隆委員

問 スクールゾーン内の危険ブロック塀撤去は進んでいますか、一般道でも危険な箇所が見受けられます。対策が必要では。

古いものも多数

建設水道課長

答 危険ブロック塀は定期的に確認し、所有者に撤去の依頼を行っています。現時点でスクールゾーン以外は調査をしておらず、古くなっているものも多数あると思われますので、補助ができるか検討していきます。

広い場所が必要

遠藤雅信委員

問 公民館の図書室は狭く、広い場所が必要だと思えます。また、新しい本に入れ替えをすべきでは。

限られた予算内で

教育長

答 公共施設の在り方は非常に大きな課題と感じています。毎年限られた予算の中で、町民の声を聞きながら本を購入していますが、さらに図書館機能を充実できるように考えていきます。

学校の建て替えは

生駒純一委員

問 教育関係施設は老朽化により毎年多額の修繕費を計上しています。計画的な学習環境の整備が必要では。

川崎小を最優先に

町長

答 学校施設はかなり傷んでいます。まずは川崎小学校の建て替えを第一に考え、ほかの施設も早急に計画を立てていきます。



町民バスの利用減

大沼大名委員

問 町民バスの利用者が減少しています。現行の運行も含め見直す時期ではないかと考えますが。

使いやすい運行を

町長

答 タクシー利用助成券の配布や人口減少も影響していると考えられます。見直しも含めて使いやすい運行ダイヤなどを検討していきたいと思っています。

反映しているか

佐藤清隆委員

問 多くの委託費が人件費の高騰により増加しています。働く人の給料に反映されているのか、業者等に確認が必要では。

守っているように

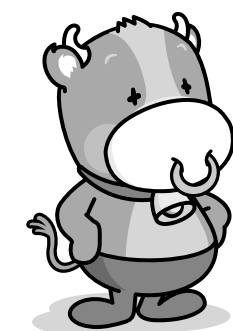
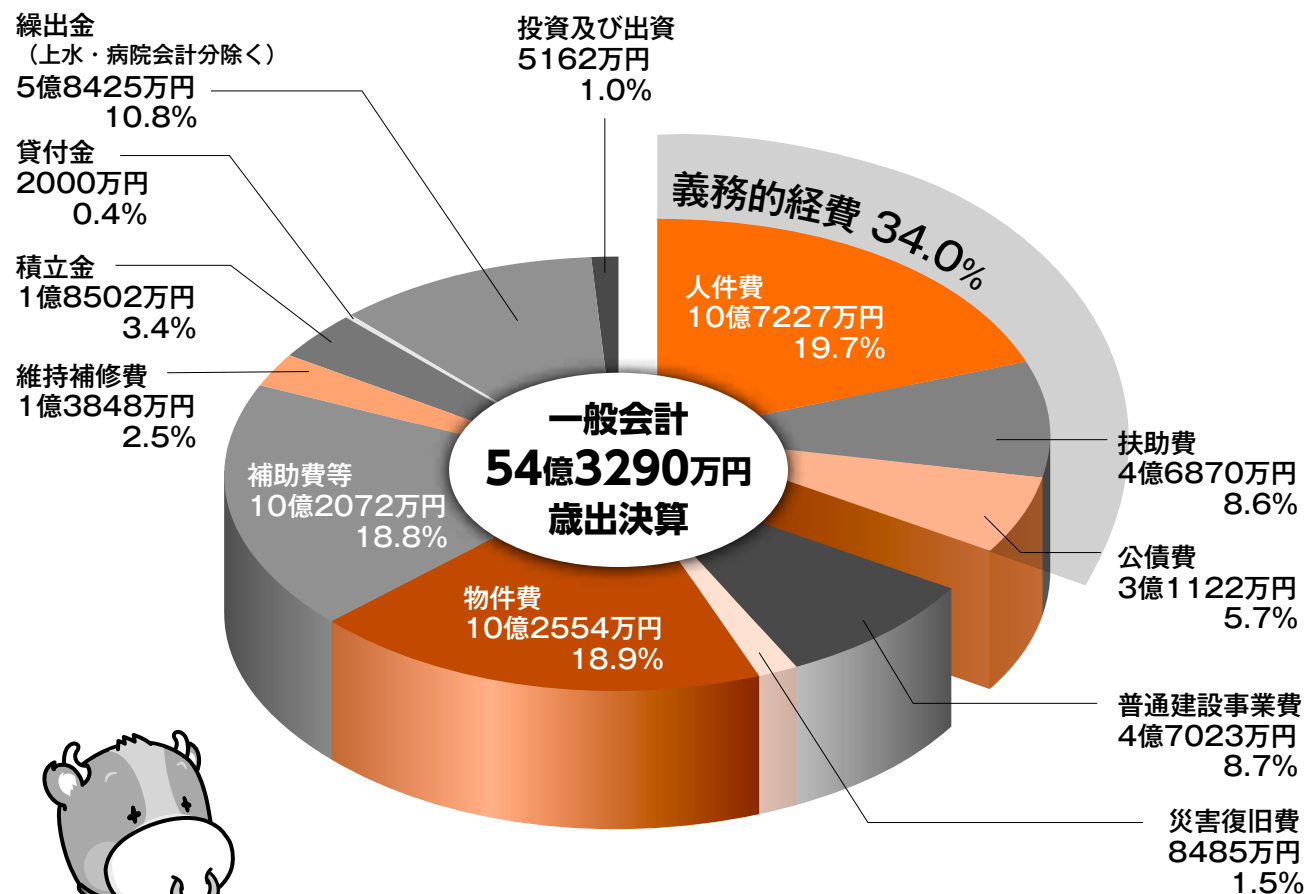
町長

答 働いている人たちの環境や給与体系をしっかりと考え、守っているよう精査していきます。



社会保障関連費

4割に迫る



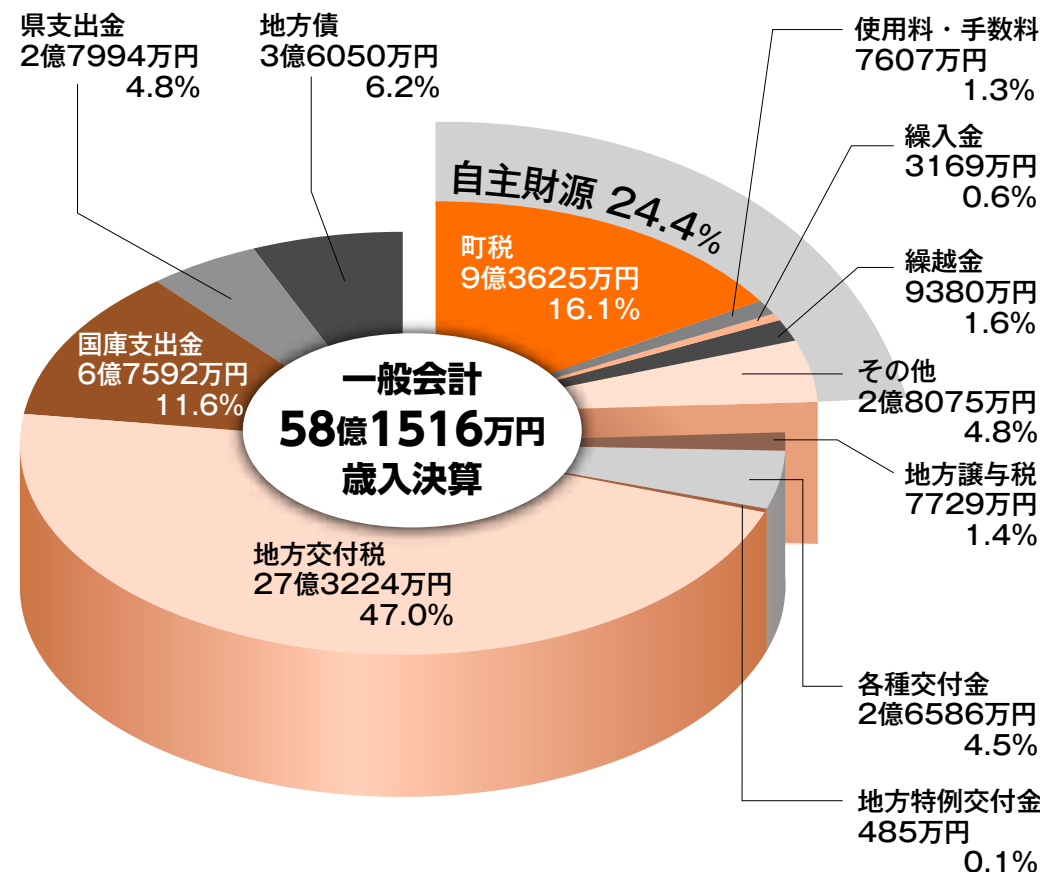
各会計歳出決算

一般会計	54億3290万円
国民健康保険特別会計	11億6458万円
後期高齢者医療保険特別会計	9753万円
介護保険特別会計	11億1608万円
温泉事業特別会計	1445万円
公共下水道事業特別会計	5億4万円
病院事業会計（3条分のみ）	8億5133万円
水道事業会計（3条分のみ）	2億5408万円
合計	94億3099万円

ポイント

歳出

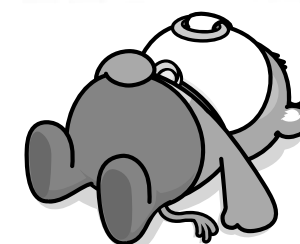
- 一般会計は前年度比で約4億円の大幅な減少。
- コロナ関連費が主に減少している。
- 一般会計からの各会計への繰出金は、介護保険特別会計を除いて増加。特に公共下水道事業特別会計は大幅に増加。



令和4年度 決算

10月11日に決算認定案8件が審議され、原案のとおり認定されました。認定された決算の概要を紹介します。

自主財源 横ばい



用語説明

- 自主財源** 町が自らの手で徴収または収納できる財源。
- 過疎対策事業債** 過疎地域に指定された市町村が使用できる借金。借りた金額の7割が交付税で措置されるため、自治体の負担が少ない。
- 社会保障関連費** 一般会計の民生費、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計を合算したもの。
- 義務的経費** 法令などで義務付けられている経費。

ポイント

歳入

- 総額は前年度比で約3億円の減少。
- 地方交付税が約8千万円の減少。
- 町税は約3800万円の増加。
- 令和4年度から過疎対策事業債が発行可能となり地方債が増加。

要望決議

要望決議とは、

決算の状況等を確認し、事業を執行する上での要望や留意事項など、執行部に対する議会の意思を表明するものです。



学校教育系施設については、老朽化により多額の修繕費を支出しています。今後の入学者数と現状を踏まえた、計画的な学習環境の整備を検討してください。

自主財源の確実な確保には徴収率の向上は欠かせません。庁内の情報共有と連携を図り、滞納額縮減に努めてください。

移住定住の促進には空き家バンク登録数の増加は不可欠です。事前登録制度の活用で円滑な登録を促し、空き家の利活用を推進してください。

带状疱疹予防などの各種ワクチン接種事業は、費用助成の充実を図りながら幅広く実施しています。町民に必要性や重要性を理解していただくとともに、効果的な周知方法によって、更なる接種率向上に取り組んでください。

基幹産業の農業を取り巻く環境は厳しい状況です。意欲のある担い手育成のためにも、地域の実情に合った活用しやすい支援策、負担軽減策を検討してください。

消防団員、交通安全指導員、防犯指導隊員等の人員不足や高齢化が進んでいます。実情に合わせた体制の見直し、再編も含め、人員確保に努めてください。



監査意見 経常経費の削減を!

徴収率は微増
歳入では3億1802万円、歳出では、4億648万円と前年度よりそれぞれ減少した決算状況となりました。これは新型コロナウイルス感染症対策の関連経費が減少したことが要因でした。
町税の徴収率は94.5%で、昨年度から0.1ポイントの増加となっています。

今後も経費削減を
基金の繰入金が必要な事業のみ活用し、着実な財源確保と計画的な負担軽減策を講じている状況です。地方交付税や他補助金活用により、一般財源の支出を抑え公共施設等整備費用基金を新たに積み立てています。
しかしながら、依然として交付税などの依存財源による財政運営

引き続き強化を
収入未済額は一般会計で前年比838万円の減少、特別会計は309万円の増加となっています。引き続き徴収対策の強化を図り自主財源確保に努力してください。

信頼される病院を
病院事業会計は、安定した病院経営を持続可能なものとしていくため、引き続き長期的な経営収支の評価に基づいた経営判断のもと、町民から信頼される医療サービスの提供を図ってください。

財政指標の状況

	R2	R3	R4	健全状況	指標の説明
経常収支比率	93.2%	84.2%	89.1%	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない			健全	標準的な収入に対する全会計の赤字割合です。
実質公債費比率	4.7%	4.8%	4.5%	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない			健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	54.5%	66.5%	77.1%	健全	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	68.3%	62.7%	65.0%	健全	将来償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合です。
財政力指数	0.330	0.310	0.300	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

町政を問う

5人の議員が質問

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



- ◆ 佐藤 昭光 議員 13
(1) 生活困りごと相談
- ◆ 的場 要 議員 14
(1) 所信表明について
(2) 賑わいの創出と文化の継承
- ◆ 佐藤 清隆 議員 15
(1) 所信表明を受けて
(2) 森林環境譲与税の活用
- ◆ 眞幡 善次 議員 16
(1) 所信表明について
(2) タブレットの活用について
- ◆ 高橋 義則 議員 17
(1) 介護保険事業の現状は

問 増えた基金を広く町民に

答 差し迫る問題を踏まえ

日用品の物価高騰により、生活に困窮する家庭が増えています。新型コロナウイルスに関する国の支援が一段落し、町は今後どう対応するのか伺います。

問 物価高騰に絡み、どんな生活の困りごと相談が寄せられていますか。

答 町 長
保健福祉課関係では、ワクチン接種や心身の不安など、3年間で約3600件の相談が寄せられています。

問 心の健康についての相談にはどのような傾向がみられますか。

答 町 長
適応障害や引きこもりに関する相談が増えています。家族へのサポートに配慮しながら対応しています。

問 生活保護申請が全国的に増えています。当町の傾向は。

答 町 長
県の公表では町内の生活保護世帯は66世帯81人です。県全体割合より低く、コロナ禍にあっても減少傾向です。



▲心の健康をサポート

問 生活の困りごと相談は複雑多岐にわたるなかで、親身な対応が求められます。今の体制で十分なのですか。

答 保健福祉課長
町民や議員の皆さんから指摘をいただきながら改善を進めています。専門の相談窓口の開設は小規模自治体ではかえって非効率と考えています。どの課であっても丁寧に対応できる体制を整えていきます。



▲物価高騰が家計を直撃

問 コロナ禍への国の支援が一段落しました。心の問題も含めて町としてより広い相談体制をとる必要があると思えますが。

答 保健福祉課長
各部署と連携して一層体制を強化します。月1回の「こころの相談」に関しては、精神医療センターの専門医が対応しています。

問 コロナ禍に対する国の支援で財政調整基金が膨らみました。これを財源として生活に困窮する町民に広く配布する考えは。

答 町 長
物価高騰に苦しむ町民のことは重々理解しております。しかし、差し迫っている学校建て替え等の問題があり、これを踏まえての対応と考えています。



さとう しょうこう 議員
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は
←こちらから



かなめ 議員
ま と ば 的 場 要



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

花火大会の役割は大きい

答

支援の形を検討したい



▲令和元年度が最後の開催

今年は4年ぶりに盆踊りが開催され、あいにくの天気にもかかわらず400人を超える方が参加。事前準備運営に関わった実行委員一同、やってよかったと喜びを共有したところです。

問 将来に向かって夢と希望を持ち、豊かな生活を送るため、またにぎわいの創出という意味でも花火大会の役割は大きいものと考えます。これまでとは違う形も模索しながら開催に向けて検討しては。

答 町長

今までの規模で花火大会をやりましようとはなかなか言えませんが、こういった形の支援ができるのか、これからいろいろ検討していかなければならないと思っています。

問

町内外への情報発信を

答

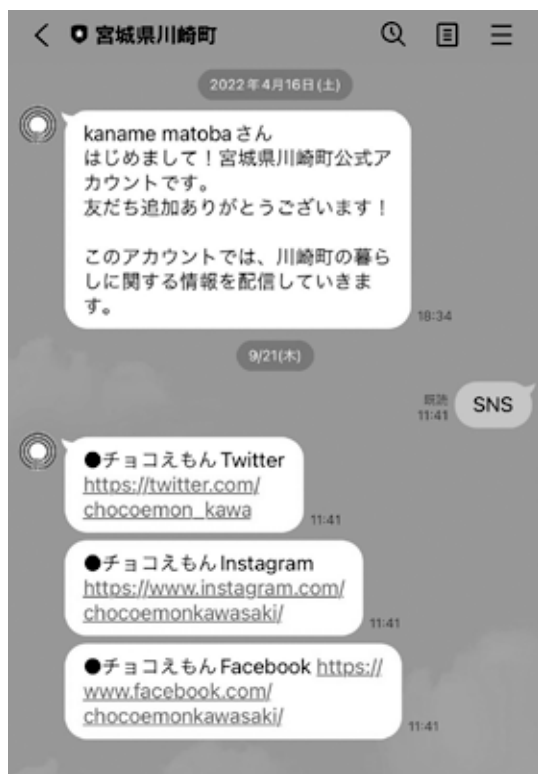
運用に向け検討

所信表明のなかで「川崎町を応援してくれる皆さまに対しても、ITとアナログ、対象者にニーズの合ったコンテンツを効果的に用いて、川崎町のシティプロモーションを展開していく」とあります。

問 県内各自治体のLINE活用が進んでいるところですが、柴田郡4町では当町のみが運用していません。町内外への情報発信としても間違いなく必要なツールであると思いますが。

答 町長

LINE公式アカウントを取得し、運用に向けた検討を進めるよう担当課に指示したところです。その過程で分かった課題を整理し庁舎内で協議を進め、今年度中に運用を開始できるよう努めます。



▲運用が待たれる公式LINE

問

「攻め」の姿勢で

答

財政的な知見も忘れずに

小山町政4期目がスタートしました。3期目はコロナ禍により、大変厳しい町政運営だったと思います。経済活動が本格的に動き出した今こそ、先を見据えた計画的な「攻め」の町政運営を行うべきと考えます。

問 所信表明にある「子どもたちや孫たちが誇りに想うまちづくり」とは具体的に何をやっていくのか。

答 町長

町民の声を謙虚に受け止め、財政的な知見も忘れず迅速に反映させていきます。自慢できるまちをPRしていきます。

問 新たに設置する「川崎町子ども家庭センター」の概要は。

答 町長

本年度から保健福祉課内に新たに専属職員を配置しました。母子の健康維持や家庭支援など、積極的に関わっていきます。まずは子育てへの漠然とした不安を払拭し、子育て支援の中核として機能させていきます。

問 町内では移住・定住が進んでいます。引き続き住み続けていただくためにも移住・定住後の支援が必要だと思っています。

答 町長

新たに新築住宅取得補助金を創設しました。従来と異なり川崎町民も対象となりました。また、移住者等の交流会を再開する予定です。当事者同士が共感、共有することでさまざまな問題解決に繋がればと考えています。

問 森林環境譲与税を活用した、森林管理と林業振興を積極的に行うべきと考えます。今までどんな取り組みを行ってきましたか。

答 町長

私有林における経営管理集積計画の作成と、今後の森林管理などに関する意向調査を一部の地域で行っています。



▲手つかずの森林も

問 基金を積み立てているが、計画的な使い道の考えは。

答 町長

町が経営管理権を取得する森林の整備に係る財源として活用していきます。また、町内産木材の利用促進を図るため、公共施設の木質化も検討したいと考えています。

問

積極的な活用を

答

意向踏まえ計画的に



▲新築住宅が建ち並ぶ支倉清水向



さとう 議員
きよたか 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから



まはた ぜんじ 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 タブレットの活用は

答 教育現場では不可欠

問 各学校でタブレットの活用方法に違いがあるようです。以前から指摘されており、教員への研修を進めるなど、新たな取り組みを進めている事と思いますが、現在の取り組み状況は。

答 教育長
タブレットなどのICT活用は、教育現場では不可欠なものとなっています。活用方法や課題などを学校間で情報共有しながら、充実した指導を行っています。



▲軽快な手さばきで

問 企業誘致と雇用の確保を

答 地道に活動続ける



▲積極的な誘致活動を

問 町内で稼働している企業で本社が他町村にある企業が何社かありますが、当町への本社移転要望など、今後どのような対応をとっていきますか。

答 町長
現在「ようこそ川崎町へ企業立地応援条例」により、工場設置などにに対し最大500万円の助成金等を準備しています。取り組み方針は変えず、誠意をもって町内外の企業と意見交換を続けます。

答 町長
それぞれの企業の立場を尊重しつつ、町の思いや立場も説明して、町に企業が進出していただけるよう、これからも地道に活動をしていきます。

問 高齢者の社会参加と生きがいの増進など、労働が個人と社会を結び付ける手段として、シルバー人材センターの果たす役割は重要で、今まで以上に、連携・支援を行う必要があるのでは。

答 町長
シルバー人材センターの担う役割・意義は非常に大きいものがあります。会員の長年の経験やノウハウを生かせるよう、民間事業者に配慮しつつ行っていく予定です。

問 突然のけがや病気の対策は

答 緊急通報システムなどで

問 一人暮らしの方が突然のけがや病気のとときには、どのような対策を講じていますか。

答 町長
民生委員や生活支援コーディネーターなど、地域の見守り活動による協力をいただいています。また、緊急通報システムを利用し、自宅に居ながらいつでも相談・通報が可能です。



▲いざという時に

問 訪問型サービスB※を受けている人数は何人ですか。また受ける条件と手続き方法は。

答 町長
令和4年度の利用人数は14人です。要支援などに該当している高齢者であれば利用できます。社会福祉協議会の窓口、保健福祉課の包括支援センターで利用申請を行い、チケットを購入していただきます。

問 訪問型サービスBは、介護者の状態を直接確認できます。利用できる範囲を広めて、より多くの人たちがサービスを受けられるようにする考えは。

答 保健福祉課長
自立状態を調査し、生活支援が必要かどうか、一定の判断基準を設けています。支援を希望される方がいましたら、まずは保健福祉課へご連絡をお願いします。

問 高齢者に長生きしてもらうことは、人口減少を防ぐ対策のひとつだと思います。高齢者にも子育て支援のような町独自の支援を考えるべきでは。

答 町長
高齢者の方々にも幅広い支援のメニューがあります。皆さんに説明しながら、一定の基準の中でサービスを提供していきたいと思っています。



たかはし よしのり 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 介護事業を必要としている高齢者のなかには、事業内容を把握していない方もいると思われま。周知方法の改善が必要では。

答 町長
要介護者にはケアマネージャーや民生委員、包括支援センター職員が適切なサービスの情報発信や提案を行っています。今後も関係機関と連携し、各種サービスの案内を丁寧にお知らせしていきます。



▲みんな元気に長生きを

「質問力を高める」 & 「編集方針、見直しも」

宮城県町村議会議員セミナー

8/18

町を良くする ための質問

高橋義則議員

一般質問は議員にとって自分の活動と知見を集約し、町の政策、制度の争点を提起できる機会です。よってその質問は、町を良くするために問い質しているのが問われます。質問は「事実・分析・主張」で構成されるとの講演で、今までの私の質問はどうだったのかを反省させられ、今後の質問に活かしていきたいと思いました。

新たな視点で 質問を

大沼大名議員

自治体の役割は地域住民の生活向上を目指す機能することです。問題を解決するため政策や制度として何が必要なのか、議員同士で議論し答えを出していく取り組みが必要になっていきます。次の一般質問では「町にとって必要なものは「町の状況は「解決するためには」というような新たな視点で行ってみようと考えています。」

編集方針の 見直しも

沼田長一議員

今までのクリニクのアドバイスや先進地視察で得たものを取り入れながら、当議会の「編集方針」を作り上げてきました。今回のクリニクではほとんどが否定されました。今年度残り2回の発行では方針は変えず、来年度の新メンバーで議論をして方針を決めていきたいと思っています。

今後変化していく 紙面も

佐藤清隆議員

現在の紙面は、先輩議員たちが築き上げた実績と細部にわたる決まりがあり、住民目線で紙面づくりをしてきました。

誰でもわかる 文章に

遠藤雅信議員

今回のクリニクでは、講師の言っていることは確かに必要なことであることが分かりました。ですが、私は文章をまとめることが苦手で、毎回広報紙づくりには苦労しています。だからこそ、だれでも読みやすい文章を目指し、広報委員としてまだまだ努力をしなければならないと思う研修でした。

町村議会広報クリニック

8/24

8月18日に蔵王町で宮城県町村議会議員セミナーが、8月24日に東京都で全国町村議会広報クリニックがそれぞれ開催されました。ここでは報告書の一部を紹介します。



▲南赤石工区工事用仮橋



▲碓石工区橋台

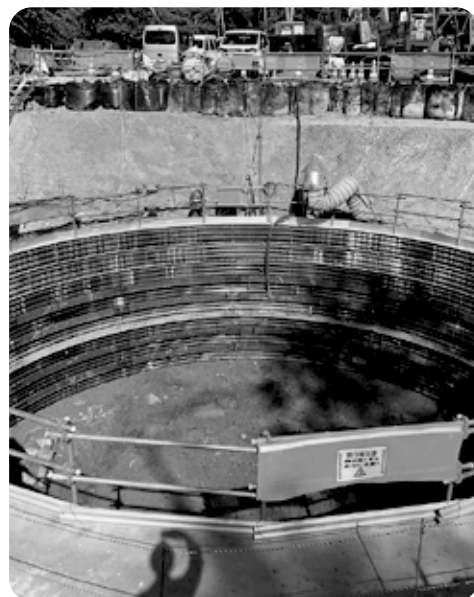
視察 来町

初心に返って

11月6日、福島県田村市から広報委員会の担当議員6名が来町され、議会広報紙の編集・発行等の研修を行いました。当議会の編集会議開催回数多さと、「議会モニター制度」に関心を持っていました。活発な意見交換で実りある研修会となりました。私達も初心に返り今後の編集作業に取り組んでいきます。

工事の進捗がより見えるカタチに

10月23日、仙台市・川崎町広域行政連絡協議会の管内視察が行われました。両首長・議会・担当職員が参加し、国道286号バイパス整備事業の進捗状況を現地で確認しました。昨年に比べ、より事業が見えるカタチになってきましたが、早期完成に向けて、引き続き宮城県・仙台市と連携していきます。



▲南赤石工区橋脚部



▲仙台市担当部からの概要説明



▲ようこそ川崎町議会へ

総務民生常任委員会

調査日 9月7日

防災の組織体制

① 効率的な管理運営を

【調査結果概要】

災害時の体制については、災害の発生またはその恐れがある場合、状況に応じて配備レベル〇号～3号を定めており、配備レベルごとに職員配置の動員体制

を設定しています。警報等の伝達については、宮城県総合防災システム（ミドリ）等を活用しています。なお、大規模災害時においては、通信の確保、被害状況の把握、避難所の開設および運営についても、



▲訓練も本番さながら

行政區・自主防災組織・消防団に協力を求めます。また、災害応急対策の実施が困難な場合は、町外も含めた防災関係機関に応援要請を行い、防災活動等に万全を期すこととしています。

て頼ることなく自助・共助・互助の観点から、区長、自主防災組織等を中心に地元住民で協力する体制づくりが必要です。引き続き効率的な管理運営がなされるよう努めてください。

各種健（検）診事業の取り組み

② 意識改革への働きかけを

【調査結果概要】

住民総合健（検）診は、総合型で実施しており、結核・肺がん検診、特定健診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎検査、成人歯

科検診等を単日で実施できる体制を取っています。また、糖尿病の重症化予防、早期発見を目的に、町独自の検査項目を追加し、早めの受診奨励や保健指導に結び付けています。



▲受診しやすい環境を

受診率は経年的に横ばいで推移しています。3年間未受診者に対し、ハガキの郵送や訪問、電話等により受診を奨励しています。

この特定健康診査や受診率等の指標は、保険者努力支援制度による国の評価を受け、県・市町村へ予算配分されることになっていて、令和5年度は約480万円となっています。現在、共通目標60%まであと一步のところ

産業建設教育常任委員会

調査日 9月8日

上水道の経営と施設の現状

① 計画的な更新事業を

【調査結果概要】

令和4年度末の給水人口は7958人で前年度比84人の減、給水戸数は3249戸で6戸の増となっています。令和4年度の経営状況については、前年度の

収益的収支※と概ね同規模となっています。今後の人口減少及び施設老朽化に伴う支出の増加が見込まれることから、補助事業等を活用しながら企業経営の健全な運営に努めていく考えです。施設につい

ては、野上浄水場など町内8カ所の浄水場を管理し、水の供給を行っています。今後は布設後40年以上経過した老朽管の更新事業などについて計画的な施設の更新を進めていく予定です。



▲安全な水を供給するため

【委員会意見】

当町の水道施設の多くで老朽化が進行しており、改修や更新の時期を迎えています。石綿管の更新は終了しましたが、有収水量率を高めるため、引き続き老朽管の更新が必要です。耐用年数等を考慮しつつ、計画的に更新事業を進めてください。また、安全・安心な水

を安定的に届けるため、今後の経営戦略を明らかにし、適正な水道料金の在り方について検討するとともに、安定した経営・財源確保に努めてください。

山城跡の現状は

② 環境整備の検討を

【調査結果概要】

町内には五つの城跡（上楯城跡、小野城跡、本砂金城跡、前川本城跡、川崎要害跡）と六つの館跡（自然地形を利用し、堀や土塁など

を設けた砦跡）があり、各所に説明板や標柱を設置し、保護と啓蒙に努めています。城跡のうち上楯城跡、前川本城（中ノ内城）跡、小野城跡は、昔の形を保存していくために、地

域・文化財保護委員会・町が連携しながら刈り払いなどの整備に取り組んでいます。一昨年、前川本城跡で新たな遺構が発見されたことから、さらに歴史的価値が高まっています。



▲新たな遺構が見つかる

【委員会意見】

前川本城跡をはじめ、小野城跡や上楯城跡などの遺構は、地域住民や文化財保護委員会の方々の協力により適正に管理されています。また、解説図を入れたポストを設置するなど見学者への配慮もされています。なお、駐車

場やトイレが整備されているのは上楯城跡と川崎要害跡であり、他の城跡は未整備の状況です。土地所有者の意向も確認のうえ、環境整備について検討してください。

9月会議

会議は、9月29日から10月11日に開きました。提案された議案は、契約案件1件、決算認定案8件、補正予算案7件、人事案2件を審議し、原案どおり可決しました。ここではその一部を紹介します。

補正予算

予防接種費用を助成

■補正内容

この秋開始するコロナワクチン接種事業の実施、インフルエンザ予防接種の町民負担を軽減するため補正するものです。



畜産飼料に補助

■補正内容

飼料などの物価高騰対策として畜産農家を対象に支援するため補正するものです。



工事請負契約

工事名

大針中継ポンプ場自家発電設備更新工事

契約方法

一般競争入札（総合評価落札方式）による請負

契約金額

1億4960万円

契約相手

仙台市青葉区本町二丁目1番29号
東芝インフラシステムズ株式会社 東北支社

人事案件

人権擁護委員（新任）



おおみや ちようこ 大宮 長子 さん
（裏丁下）

令和6年1月1日から
令和8年12月31日までの
3年間

教育委員（再任）



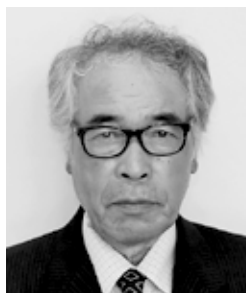
たからだ まさし 宝田 正志 さん
（支倉上）

令和5年11月1日から
令和9年10月31日までの
4年間



新議員紹介

8月の議員補欠選挙で当選された議員を紹介します。



いまい かつひこ 今田 勝春 75歳

信条

当町の基幹産業である農業産業発展のため、働きます。

抱負

- 農地荒廃化防止対策
- 減反政策
- 新規就農者への対策
- ライフラインの整備
- 環境にやさしい町づくり

地域おこし協力隊として3年間活躍。活動中に会った幻のお茶「川崎茶」を復活させました。家族とともに移住し、川崎小学校入り口付近で「茶舗 福ノ葉堂」を営業している山崎杏美さんをご紹介します。

自然環境の良さ

Q 川崎に移住したきっかけは。

A 横浜で会社員をしていましたが、体調不良をきっかけに地に足をつけた暮らしをしたいと思ったことがきっかけです。ちょうど地域おこし協力隊の募集をしていた川崎町の自然豊かな魅力に惹かれて移住を決めました。

温かさがある

Q 移住してみても川崎の印象は。

A 川崎の人達の心の温かさを感じています。多くの皆さんの協力があって店を開店することができました。とても住みやすい町なので多くの人に移住・定住をお勧めします。

この町で起業

Q お店を開くきっかけは。

A 川崎茶との出会いがきっかけです。川崎で収穫した、ふくよかな香りと甘みのあるお茶を飲んでいただく場所を提供したくて起業しました。お店では地産地消を念頭に置いたフードやデザートなども提供しています。



▲熱い思いを語る



▲立野で栽培「川崎茶」

お茶で町おこし

Q お茶との出会いをお聞きます。

A 地域おこし協力隊の時期に古関の農家で「川崎茶」と出会いました。130年以上前から町内で栽培されていたお茶を復活させようと思い、挿し木で栽培に取り組みました。収穫した茶葉は和紅茶として販売しています。

町民の足を確保

Q 町や議会に望むことは。

A 川崎町は自然豊かなまちなので、自然を生かした町づくりをしてもらいたいです。また、町民の足にデマンドタクシーなどを取り入れて、誰もが利用しやすいようにしてほしいです。



やまざき あみ 山崎 杏美さん（裏丁下）と両親

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月5日(火)～8日(金)
一般質問は12月6日(水)・7日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は9月会議8人、ライブ中継は75アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL(0224)84-2301

掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

町の風景



ダブルレインボーは幸運のサイン!

撮影場所:山村開発センターから 提供:議会広聴・広報委員会

表紙の説明「はじめるよ!ハイ!」

「かわさきこども園運動会」にて

撮影 広報モニター 藤原 義信さん

議会映像配信

議会の様子が
ご覧いただけます。



発行:川崎町議会
編集:議会広聴・広報委員会

〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1
TEL(0224)84-2301・FAX84-6789
E-mail:kawasakiz2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷:株式会社津田印刷